

「私は大丈夫」とおもっていませんか？

悪質商法に気をつけましょう



高齢者や主婦をねらう 悪質商法

家にいることの多い高齢者や主婦には、
悪質な訪問販売による被害が多発しています。

利殖商法

投資に関するダイレクトメールが届き、その後、何度も電話がかかってくる。複数の会社や人物をタイミングよく登場させ（劇場型）、もうかることを強調し、高額な投資や出資を勧め、お金をだまし取る手口です。「過去の損を取り戻してあげる」と持ちかけ、二次被害に遭うケースも多くなっています。

若者をねらう悪質商法

学生や若者には社会経験の乏しさにつけ込む手口が多く発生しています。

ワンクリック請求

パソコンや携帯電話で、無料の動画や占い、ゲームなどのサイトを利用して
いたところ、意図せず、有料アダルトサイトにつながり、高額な料金を請求さ
れます。

請求画面が消えないといったトラブルも多く発生しています。



もし、万一被害に遭うか、それらしい電話があれば適格消費者団体「大分県消費者
問題ネットワーク」の「消費者被害110番」にご相談ください。

CONTENTS

4千人防災訓練	
南海トラフ地震を想定官民が連携し県連も参加……	2
震災から3年半の被災地へ	
福島県・宮城県へ県連役員視察研修を行いました…	3
第24回県議会各会派 議員との懇談会……	4～5
第2回県連主催会員生協監事研修会を開く……	6
2015年度 大分県予算編成並びに	
行政執行に関する要望書提出……	7～8
県生協連主催 第25回スポーツ交流会が開かれた……	9
2014年度 役職員研修会開催……	10
介護保険制度改正に関する学習会……	11

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた……	12
日田市民生活協同組合……	13
グリーンコープ生活協同組合おおいた……	14
大分県学校生活協同組合……	15
大分大学生生活協同組合……	16
大分県労働者総合生活協同組合……	17
大分県労働者医療生活協同組合……	18
大分県医療生活協同組合……	19

4千人防災訓練

南海トラフ地震を想定官民が連携し県連も参加

南海トラフ巨大地震を想定した県の総合防災訓練が2014年8月30日（土）に大分市・由布市などであり、官民合わせて県内78機関・団体から4千人余りが参加して実施された。

この訓練の目的は、南海トラフ地震等発生時における災害対応の実効性を高めることを主眼として、自治体と防災関係機関等との連携強化及び地域住民の防災意識の高揚を図ることと、政府主催の広域医療搬送訓練と連携した訓練も実施されました。

訓練の基本想定は、大分市地区で平成26年8月30日（土）午前9時、東海・東南海・南海に加え、日向灘を震源域とするマグニチュード9.0の地震が発生、県中部地区で震度6強を観測、地震発生から3分後、気象庁は県沿岸部へ大津波警報を発表、大分市豊海で最大津波高は約4.3m、佐賀関で最大津波高は約8.3mが想定での訓練となり、大分市では大分銀行ドーム・大分石油コンビナート地区・佐賀関小学校を会場に行われた。

由布市では、8月30日（土）午前6時、九州中部に停滞した前線に伴う集中豪雨により、由布市最大1時間80mmを超える雨量を観測、午前8時に気象庁は土砂災害警戒情報を発表、午前10時、特別警報に変わったことを想定した中で湯布院中学校グラウンドと湯布院B & G海洋センター、挾間町の石垣地区、庄内町の阿南地区、下湯平地区を会場に行われました。

県連関係では、県が広域防災拠点と位置付けた大分スポーツ公園での人員や物資の受け入れ態勢の確認と白衛隊や国土交通省、県などのヘリコプター計8機も加わり、被災者救出や救援物資搬入、無線通信などの訓練、同時に政府の広域医療搬送訓練も実施、大分銀行ドーム内のトレーニング室に応急の医療施設を設け、県内外から災害派遣医療チームが参集、負傷者を被災地外の空港への搬送訓練等が行われる中、大分県生活協同組合連合会が大分県と協定している「災害時における生活必需物資の供給に関する協定」に基づき、午前9時20分、大分県防災危機管理室より、県連が指定した生協コープおおいたに飲料水搬入の依頼を受け、コープおおいたでは直ちに準備して、防災拠点である大分銀行ドーム公園に「災害緊急物資」の横断幕を付けた車両で飲料水312本を搬入しました。

一方、湯布院B & G海洋センターでの訓練には、午前8時00分、大分県防災危機管理室より、県連が指定したグリーンコープ生協おおいたに飲料水搬入の依頼を受け、グリーンコープおおいたでは直ちに準備して、防災拠点である湯布院B & G海洋センターに飲料水240本を搬入しました。

こうした訓練に参加するのは昨年の中津市での参加が初めてで、今回は2回目であり、県行政の要望に応えることが出来ました。コープおおいたやグリーンコープおおいたのみなさんにおかれましてはご協力いただき感謝いたします。



震災から3年半の被災地へ 福島県・宮城県へ県連役員視察研修を行いました

今回の役員視察研修は、被災地の今を伝えるために現地を見る活動の一環として、昨年行った被災地となった福島県を視察しましたが、本年度も引き続き福島県・宮城県を県連役員の研修として取り組みました。

視察研修は、2014年9月5日（金）に福島入りして、生協コープふくしまの野中俊吉専務理事の同行をいただき、最初に、りんごや桃を栽培している果樹農家である高橋さんの果樹園を訪れました。9月中旬に出荷するという「さくら白桃」という品種の桃で、きれいにおいしそうに実っていました。震災から3年半が経ち、震災当時は本当に厳しかったようです。一本一本を東電からの何の補助もなく、高圧洗浄機で洗浄しましたが、風評被害もあり苦労の連続で不安いっぱいであったという苦労ばなしを昨年訪れたときは聞きましたが、今回は安全・安心な桃が出荷できる状態となり、一步ずつ前に向かってがんばっているとのことでしたが、今だ風評被害は少なからずあると話していました。

次に、東日本大震災の地震と津波、福島第一原子力発電所事故の放射能物質による健康への不安や、農・漁業をはじめとする産業への風評被害など未曾有の困難に直面した新地町役場を訪れました。この新地町では、震災時は地震震度は6強の揺れ、津波は9.3m以上に達し、津波の浸水は町の総面積46.35km²の約5分の1にあたる9.4km²に及び、15行政区30地区のうち11地区が浸水し、5地区はほぼ全域で地震や津波により全壊474戸、大規模半壊45戸、半壊111戸の被害、亡くなられた方は118名、避難所への避難者数は2400名にのぼります。

新地町では、加藤町長が温かく迎えてくれ、懇談では、これまでの取り組みや苦労、将来像を話され、町役場屋上から、第一次復興計画での復興の状況を視察しました。

次に訪れたのは、宮城県名取市で、仙台空港で浸水高5.7m、閑上漁港付近では浸水高9.09m、名取市を襲った津波は、最大で概ね10m前後と推定され、地震による震度は6強、津波は海岸から最大約5km、河川では8kmまで浸水し、死者は911人、行方不明者41人は全て津波の被害であり、沿岸部では家屋の全壊が多数を占め、閑上では海から1km以内の木造住宅は、ほぼ全て流失、更に火災も発生するなど津波によって閑上・下増田地区の沿岸部は壊滅的な被害を受けた。

その閑上地区を訪れましたが、海岸から700mのところに船の出入り、気象、漁の安全を祈願するために標高6.3mの日和山を築き、富主姫神社を建立していましたが、その神社も津波にさらわれ付近一帯は壊滅状況にあり、慰霊塔も立てられておりましたが、復旧・復興の目途は経っていませんでした。

その後、みやぎ生協の店舗を視察しましたが、現在では震災前と変わりのないにぎわいを呈していました。

最後に、今回の視察を通じて被災地の実態と被災者のおかれている現状を、ほんの一部かも知れませんが知ることができ・人と人との絆、これからも震災の復旧・復興のために、そして一日も早く被災者が元の生活が取りもどすことができるよう、ともに努力しなければならぬと痛感しました。



第24回県議会各会派 議員との懇談会

生協連合会役員と県議会各会派の議員との懇談会が、9月10日（水）大分センチュリーホテルで行われました。今年で24回目のこの懇談会は、県下の生協活動への理解と支持・協力を得るため、また、生協に対する意見・要望を聞くために県議会議長をはじめ、県議会各会派の議員のみなさんの呼びかけで開催したものです。

当日は県議会開会中に関わらず各議員の皆様は大変お忙しい中、桜木博県議会副議長さんをはじめ、自由民主党、公明党、県民クラブ、日本共産党より11名の議員の皆様のご出席いただき、生協連は青木会長をはじめ県連役員14名、コープおおいた・グリーンコープおおいた・勤労者医療生協・医療生協の会員生協より7名が参加し開かれました。

懇談会はまず・生協連の青木会長より「本日は県議会開催の中、桜木副議長をはじめ多くの議員のみなさんに県生協連との懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

これまで生協活動にご理解とご支援をいただいておりますが、今年は創立59年目を迎えることができました。来年度は60周年の節目の年となります。おかげさまで12の生協の組合員数も47万人と大きくなりまして、県下最大の消費者組織として、地域のみならず、組合員のみならずにお役に立ちたいという思いで活動してまいりました。このあと幾つかの生協から活動報告をさせていただきますが、生協連は、地域生協、職域生協、医療・福祉生協と三つのグループで活動していますが、地域生協では食の安全・安心、地産地消を中心に組合員の食生活を守ろうとする活動をベースに、職域生協では特に学校生協は教職員の福利厚生活動の充実に、医療・福祉生協では医療・介護・福祉の分野で活動をしてきました。ただ59年という歴史を重ねながら47万人と、大分県の人口を考えると最大の組織といえども認知度は低いものであります。組織としての活動をさらに広げてゆくためには、今日ご出席いただきました県議会議員のみなさんをはじめ日頃から生協に関わりの少ないみなさんに広く生協活動を知らせてゆく活動の必要があります。その最大の窓口がみなさまでありますので、是非、この後懇親を深めていただければありがたいと思っています。

さらに、私も活動を通じて消費者被害を無くす活動をしていますNPO法人大分県消費者問題ネットワークの活動の中心となっている県生協連に消費者庁から「ベスト消費者サポーター章」を消費者庁長官からいただきました。これも日頃から活動している会員生協のご理解をいただき浸透してきたのかと思っておりますが、一方で大分県の消費者被害は全国的に見ても多く、消費者組織である我々が組合員さんを通じて一人でも少ない被害を減らしてゆく取り組みにも積極的に取り組まなければなりません。それ以外にも高齢者福祉、子育て支援、さまざまな活動に取り組んでいます。中間さん地域で移動販売事業をはじめ地域の見守り活動・災害時における緊急物資の提供、先月の県の総合防災訓練にも参加、広島豪雨でも全国の生協とともに救援物資の提供をしている。大分県でもいつこうした災害が起こるかも分からないので、

こうした訓練を通して日常的にも行政のみなさんとコミュニケーションが取れるようにしたい。来年は60周年でありますので、みなさま方とともに生協運動を広げてゆきたいと思っていますので、ご理解をお願いします。」とあいさつしました。

次いで・出席議員を代表して副議長の桜木博さんより議長の近藤和義さんのメッセージが代読され、「青木県連会長をはじめ大分県生協連のみなさま方には、平素から、県内各地域において、県民生活の安定と生活文化の向上に格別のご尽力を賜っており、心から敬意を表する次第です。



さて、近年、食品の産地偽装や食中毒などの食の安全・安心に関する事案が発生する一方で、消費者契約トラブルや悪質商法に関する事案も相次いで発生するなど、消費者の利益と権利が脅かされています。他方で、将来発生が予想される南海トラフ地震や、近年多発する豪雨など災害による被害に対しても、自助や共助による対策や備えを行う必要があります。このような中、県民の生活を守り、信頼と安心に裏打ちされた社会を実現するため、安全・安心な商品の提供をはじめ、地産地消を大切にした産直活動や消費者被害の発生・拡大の防止などの取り組みに加え、災害発生時等緊急時の生活必需物資の供給などの各種事業活動に熱心に取り組まれている大分県生活協同組合連合会に対する期待は、ますます高まっています。県議会といたしましても、県民の安全・安心でより暮らしの実現に向けて、このような意見交換会の場を通じて、相互の理解を深め、連携していくことは誠に意義深いものと考えています。

本日は、どうか活発なご議論をいただきますとともに、皆様方から、県議会あるいは県政に對しましても、忌憚ないご意見、ご助言を賜れば幸いです。」とありました。

引き続き、出席された生協と各議員より自己紹介をいただいて、意見交換のポイントとなる「生協県連の活動概要」や県連が大分県行政に関する要望書を提出することを太田専務と河津理事より報告、県職生協、コープおおいたとグリーンコープおおいた、勤労者医療生協と県医療生協より活動を説明して、意見交換では、県議会議員より生協に対するハッパがかけられ、医療関係の質問もあり、時間的なこともあって懇談会は終わり、その後の懇親会では相互の意見交換もあって、この懇談会を通じ、生協に対しての理解は深まったことを確信しました。

県議会議員の出席者

会 派	氏 名	出身地	会 派	氏 名	出身地
県議会副議長	桜 木 博	日田市	県民クラブ	守 永 信 幸	大分市
県民クラブ	小 野 弘 利	国東市	自由民主党	佐々木 敏 夫	豊後高田市
々	平 岩 純 子	大分市	々	元 吉 俊 博	宇佐市
々	酒 井 喜 親	日田市	公 明 党	吉 岡 美智子	大分市
々	深 津 栄 一	佐伯市	日本共産党	堤 栄 三	大分市
々	馬 場 林	中津市			

生協の出席者

県連役職名	氏 名	単 協 名	単協役職名
会長理事	青 木 博 範	生協コープおおいた	理事長
専務理事	太 田 耕 作	員 外	
理事	後 藤 哲 也	日 田 市 民 生 協	専務理事
理事	佐 藤 慈 宜	グ リ ー ン コ ー プ 生 協 お お い た	専務理事
理事	川 辺 功	大 分 県 学 校 生 協	専務理事
理事	加 藤 和 幸	大 分 県 高 校 生 協	専務理事
理事	南 條 晃	大 分 大 学 生 協	専務理事
理事	那 賀 久 資	大 分 県 職 員 生 協	専務理事
理事	河 原 伸 明	自 治 労 信 販 生 協	専務理事
理事	中 野 敦	大 分 県 総 合 生 協	専務理事
理事	河 津 暁 爾	大 分 県 勤 労 者 医 療 生 協	専務理事
理事	田 辺 修	大 分 県 医 療 生 協	専務理事
監事	江 藤 隆 康	生協コープおおいた	専務理事
監事	高 瀬 宏 一	大 分 県 学 校 生 協	常務理事
	宮 崎 千恵子	生協コープおおいた	理事
	高 司 真理子	〃	理事
	松 尾 孝 子	〃	理事
	塩 月 恵 子	グ リ ー ン コ ー プ 生 協 お お い た	理事長
	宇都宮 陽 子	〃	副理事長
	矢 野 直 美	大 分 県 勤 労 者 医 療 生 協	事務長
	松 本 茂 子	大 分 県 医 療 生 協	副理事長

第2回県連主催会員生協監事研修会を開く

県連主催の会員生協監事研修会は、9月12日（金）に大分市中央町の全労済ソレイユ3階牡丹の間で、県連及び会員生協の監事19名が参加して開催されました。

研修会は、冒頭に青木県連会長が「県連の場でこうした監事研修会を行うのは2回目であり、組合員監事といえども理事会の常勤の業務執行をきびしくチェックするという大きな役割があり、監事会や監査のあり方について勉強してもらって、それぞれの会員生協において、監事は組合財産を守り、理事の業務執行をきびしく監査し、提言できる権限を持ってるので、その責務を果たすように、今日の研修会で学んでほしい。」とあいさつがありました。

講演は、日本生活協同組合連合会会員支援本部法規会計支援室長の宮部好広さんが、「監事監査の基本と実務のポイント」と題して講演されました。



講演内容は、監事の職務の基本では、①組合の機関は、生協法人の意思決定、業務執行、監査等の役割を担う法人の内部における人や会議が生協の機関で、機関の役割として総（代）会、理事会、代表理事、監事会がある、②理事・監事と組合の関係は、総代会で選任され、組合とは委任関係にある、③受任者（理事・監事）としての基本的な義務は、基本的には二つの義務があり、理事は受任義務として、理事としての善管注意義務・忠実義務を尽くして、職務を執行する義務、監事の受任義務は、監事として善管注意義務を尽くして、（1）理事の受任義務の履行状況を監査する義務、監査の方法と結果を明らかにするために、監査報告を作成し、委任者である組合員に報告する義務、④監事監査の目的は、監事は、組合員の負託を受けた独立の機関として理事の職務の執行を監査するとにより、持続的な発展を可能にする組合の健全な運営と社会的信頼に応えるガバナンスを確立する責務がある、⑤監事の善管注意義務は、監事の心構えとして公正義不偏の態度、自己研鑽、適正な監査視点、意思疎通の確保、情報の共有、適正な意見形成、秘密保持、理事への説明、⑥役員の法的責任は、民事と刑事責任がある。役員の組合に対する損害賠償責任、第三者に対する損害賠償責任で理事は、決算関係書類の重要事項の虚偽記載、虚偽の登記、虚偽の公告、監事は、監査報告の重要事項の虚偽報告である。⑦監事監査と内部監査部門等との関係。⑧生協法の中の監事の定義では、①監事にあたえられた権限と義務は、理事会への出席義務、理事の監査への報告義務、監事の理事会への報告義務、理事の行為の差止め、総代会に対する報告義務。②監事の独立性を確保するための規定は、役員の兼職禁止、監事の選任議案の同意権、選任議題の提出請求権、監事の選任・解任・辞任についての総代会での意見陳述権、監査の費用等の請求、報酬、③監事に関するその他の規定は、員外監事、常勤監事、会計監査人。業務監査のポイントでは、①業務監査の対象、②監事の業務監査の内容、③監査報告に記載が求められる事項、④監査方法、⑤理事に対する助言・勧告、会見監査のポイントでは、①会計監査とは何か、②会計監査の対象、③監査報告に記載が求められる事項、④決算関係書類は、何に準拠して作成されているか、⑤監査報告、監査報告の作成について話されました。

2015年度 大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出

2014年9月30日（火）「2015年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望」を、県の生活環境部長室で行ないました。

この要請活動は毎年会員生協の意見を聞きながら実施しています。今回の要望は、①消費者行政の充実・強化、②食の安全・安心の推進、③地域福祉を充実させる観点から、高齢者や子育ての支援、④生活協同組合への支援、⑤緊急消防援助隊の応援出動における食料調達、⑥医療・介護・福祉についての6つのテーマです。

当日は、県生活環境部より富高松雄部長をはじめ5名、生協県連は、小野弘利県議会議員、酒井喜親県議会議員(日田市民生活協同組合理事長)、青木博範会長理事を含め役員9名が出席しました。



会議は、久々宮参事が司会者となり、最初に県生協連の青木会長より「日頃より、県民の消費者行政・福祉、暮らしを良くする活動にご尽力されいてることに感謝し、生協運動にご理解とご支援をいただいていますことに重ねてお礼申し上げます。来年度の県の予算編成において県生協連理事会において幾つかの要請事項をまとめさせて頂きました。昨年より少し要望事項をしばらせて深まる議論をいただきたい。高齢者福祉や子育て支援に取り組んでいる生活環境部男女参画課

や関係者の皆様の協力を頂きながら、消費者行政、生協活動の発展に寄与してゆきたいと思っていますので、よろしくお願いします。」とあいさつがあり、県、生協連双方より出席者の自己紹介があった後、青木会長より富高部長に「要望書」を手渡し、内容については太田専務より消費者行政・食の安全・安心、地域福祉の充実等について、河津理事より医療・介護・福祉について詳しく説明を行い、12月末までに回答いただくようお願いし、酒井県議より、教育現場で緊急的に給食の対応することが発生した場合の教育行政でも緊急物資の協定が必要ではないか、小野県議から生協との連携強化等について質問もありました。

その後、富高部長より「本日は平成27年度の県行政に対する要望書をいただきましたが、多方面にわたる要望であります。まずは、県生協連におかれましては、消費生活行政はもちろんのこと、食の安全・安心の推進、災害、環境問題への取り組みなど多方面にわたるご支援をいただいていることに感謝します。また、3年半前の東日本大震災、2年前の九州北部豪雨では被災地や被災者支援のための救援物資や義援金活動に取り組まれましたことに重ねてお礼申し上げます。

5月には消費者問題や大分県消費者問題ネットワークの中心的活動されている県生協連が消費者庁長官から

「ベスト消費者サポーター章」を受賞され、消費者問題は集団的な取り組みが必要であり、県行政と生協活動との連携は重要であり、今後の展開に期待しています。生活環境部や福祉保健部の施策と生協運動は分野別にも重なっており、生協の協力をいただき、連携し



てゆく必要があります。要望書にある消費者行政では教育推進のための部会を設置し、ワーキンググループで基本計画を作る、消費者被害は高齢者を中心にありその対策が必要であり、食の問題、地域福祉での高齢者対策や女性が活躍するためにも子育て支援は大切であり・本日の要望の中で、われわれも取り組まなければならない課題もあります。しっかりと消費者行政や食の安全、災害や地域福祉の問題に取り組んで行きたい。要望についてはお聞きしましたが多岐にわたる課題でもあり、関係する部署とも連携して回答する。」と述べられ、その後、意見交換を行いました。

出席者

大分県生活環境部

部 長	富 高 松 雄
審議監	山 戸 康 弘
消費生活・男女参画課長	塩 田 申 子
男女共同参画課 県民生活班参事	久々宮 明 美
男女共同参画課 県民生活班副主幹	足 立 晃 一

大分県生活協同組合連合会

会長理事	青 木 博 範	コープおおいた理事長
専務理事	太 田 耕 作	員 外
理 事	川 辺 功	大分県学校生協専務理事
理 事	南 條 晃	大分大学生協専務理事
理 事	那 賀 久 資	大分県職員生協専務理事
理 事	河 原 伸 明	自治労信販生協専務理事
理 事	中 野 敦	大分県総合生協専務理事
理 事	河 津 暁 爾	大分県勤労者医療生協専務理事
監 事	江 藤 隆 康	コープおおいた専務理事
	小 野 弘 利	大 分 県 議 会 議 員
	酒 井 喜 親	大 分 県 議 会 議 員

県生協連主催 第25回スポーツ交流会が開かれた

勤労者医療生協MOEG I 4連覇

県連主催「スポーツ交流会」は、秋を感じさせる季節のする11月6日（木）に第24回スポーツ交流会は、ミニバレーボール大会として県総合体育館で行われました。

この交流会は、県内生協間の連帯と組合員の交流を通して、県内における生協運動の発展をはかることを目的として毎年開催しているものです。本年度は、4単協12チーム、136名の選手が参加して行われ、年々参加生協や参加者数も減少傾向となっています。

試合に先立ち、開会式が行われ、大分県学校生活協同組合の岩本淳さんの総合司会ではじまり、主催者を代表して太田耕作県連専務理事のあいさつ、河原伸明競技委員長（白労大分県本部信販生協専務理事）の競技上での注意事項の説明があり、選手宣誓は大分県学校生活協同組合の藍京慎吾さんが選手宣誓を行い、大分県学校生活協同組合館の外園雄一さんの指導で準備体操の後、試合となりました。

試合は、4コートに分かれて予選リーグ戦が行われ、手に汗を握る熱戦となりましたが、今回は各コートとも参加チームの関係で1チームのみ決勝に進めない結果となり、僅かで涙をのんだチームもありました。



決勝トーナメント戦は、4パートの上位2チームのトーナメント方式で試合を行い、見ごたえのある試合が続き、本年度は予選では昨年の優勝チームと準優勝チームが同じパートで対戦することなどあり、日田地区から参加した日田市民生協3チームとコープおおいた1チームの全チームが予選を突破され、決勝トーナメントでは日田市民生協の3チームが3位以上の好成績を残し、決勝では勤労者医療生協MOEG Iと日田市民生協の三花クラブが対戦し、MOEG Iが4連覇し、日田市民生協チームの久し振りの優勝を逃しました。

成績は、大分県勤労者医療生協のMOEG Iが優勝、準優勝は日田市民生活協同組合の三花クラブ、第3位は、日田市民生活協同組合のあじさいとサランでした。

最後に、閉会式で表彰と副賞の授与を行い、南條晃理事（大分大学生協専務理事）の閉会のあいさつがありましたが、今年も残念なことに負傷者がでる大会となりました。



優勝チーム



準優勝チーム

2014年度 役職員研修会開催

大分県生協連に加盟する、県下12生協の役職員の代表60名が参加して、「役職員研修会」が11月26日（水）、大分市の全労済ソレイユ7階アイリスで開催しました。

研修会は、大分県勤労者医療生活協同組合の矢野直美さんが総合司会者となって始まり、主催者を代表して青木博範会長理事が「今、衆議院議員選挙は



はじまろうとしています、安倍内閣はアベノミクスの成果を問う選挙だといっていますが、我々生協連はそれだけが争点ではなく、今日、勉強する日本国憲法や集団的自衛権、原発再稼働、消費税問題等の争点があり、我々生協は中立的立場から学習するものであり、テーマ自身も客観的事実を正確に知ってもらうことを根底に学習をしてもらうもので、今日のテーマもその趣旨によるものとなりますので、生協の組合員として国民の一人一人の立場としてしっかり勉強して、行動や活動に生かしていただきたいと思います。生協は平和とくらしを基本理念としていますが、来年は被爆70周年であり、平和を真正面に取り組むことにしており、そういう機会を作らせていただきます。先般開催した理事会では、来年創立60周年と被爆70周年がくしくも同じ年に迎えることから平和問題を重点的に取り組むことにしています。この平和の取り組みも組合員のみなさんが広く県民へ広げてもらうことが大切であり、時間的にも短い時間ではありますが、しっかり学んでほしい。」とあいさつし、来賓のあいさつで、大分県生活環境部理事兼審議監の山戸康弘氏、大分県労働者福祉協議会専務理事の吐合史郎氏、日本生活協同組合連合会九州地連事務局長の岡出洋次氏のあいさつがあり、顧問の亀山哲氏を紹介して講演となりました。

講演は、日本生活協同組合連合会政策企画部部長の小熊竹彦氏が「日本国憲法をめぐる15の質問・集団的自衛権をめぐる12の質問」と題して講演されました。

講演内容は、憲法クイズ○か×かで、①日本国憲法は、国民主権・基本的人権・平和主義の3つの原理に基づいているといわれている。②日本国憲法は、条文の中で国民は憲法を守る義務があると書いてある。③集団的自衛権の行使とは、日本に対する武力攻撃がない状況で、日本と友好関係にある国（B国）が、他の国（A国）から武力攻撃を受けた時に、B国と共同でA国に反撃することができる。からはじまり、第Ⅰ部では、私たちのくらしと日本国憲法で、憲法と女性、基本的人権で出生とともに認められる、学校教育と、就職・労働と、心と、事件と、生活保障と、生存権と、基本的人権の本質、基本原理では、国民主権とは、憲法とは何か、立憲主義とは何か、憲法遵守義務、第Ⅱ部で集団的自衛権をめぐって、憲法の平和主義、制定時の考え方、これまでの憲法解釈について話され、集団的自衛権の7月1日の閣議決定、例外事例、自衛隊の海外派遣の歴史、必要性の理由、武器輸出三原則の見直し、政府が提示した3分野15種類、行使の事例、集団的自衛権をめぐる論点、世論の動向、今後の展開では、日米ガイドラインの見直し、自衛隊法などの法改正、徴兵制について、最後に、私たちにできることで、日本国憲法の基本原則（国民主権、平和主義、基本的人権）を大切にしながら、地域で学ぶ場づくりを広げること、学習すること、話し合うこと、意思表示をしていくことが大切であると結びました。

参加者から、今、私たちはどうすればよいのか等の質問があり、具体的回答はありませんでしたが、大変勉強になる研修会でありました。

介護保険制度改正に関する学習会

大分県生協連では、2015年度より実施される介護保険制度改定に伴う対策として連絡会を結成し、制度改正の内容やその対応について学習するために、2014年11月22日（土）に大分市の全労済ソレイユ7階アイリスで、関係する会員生協の役職員60名が参加して、「介護保険制度改正に関する学習会」を開催しました。

学習会は、連絡会事務局長のコープおおいた生活サービス事業本部長の板井修一さんが総司会となり、はじめに青木博範県生協連会長理事があいさつし、講演となりました。

講演1では、大分県福祉保健部高齢者福祉課介護保険推進班参事（統括）の幸清二さんから、「介護保険制度改正について」と題して話されました。

講演は、制度改正の背景として、全国や大分県の要介護度別認定数の推移、介護給付と保険料の推移、高齢化率の比較等をして改定する訳を説明し、保険制度改定の概要は、地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保のため、充実と重点化・効率化を一体的に行うもので、充実では、サービス提供体制では、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の見直しで、①在宅医療・介護の連携推進、②認知症施策の推進、③地域ケア会議の充実、④生活支援・介護予防の充実、重点化・効率化では、介護サービスで介護予防給付（訪問・通所介護）の地域支援事業への移行、特別養護老人ホームの中重度者への重点化、費用負担の充実では、低所得者の一号保険料の軽減強化、重点化・効率化は、一定以上所得者の利用者負担の見直し、補足給付の見直しである。最後に、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の全体像や構成。サービスの類型、介護サービスの利用の手続き、2025年を見据えた介護保険事業計画の策定、主な施行期日、これからの介護保険として、従来の「お世話型介護」から脱却し、「予防介護」「自立支援型介護」という視点に立って、介護サービスを提供することが重要であると締め括りました。

続いて講演2では、生協ひろしま執行役員・福祉事業統括部長の岡崎晃さんが、「会員生協における改正介護保険制度の取り組みと市町村対応について」と題して話されました。

講演内容は、最初に日本生協連の取り組み、医療福祉協連の取り組み概要、生協ひろしまの概要で福祉事業の内容、介護保険制度・2015年介護報酬改定の動向について話され、組合員の暮らしを支える生協の役割で生協ひろしまの事業として購買事業の事業所配置、福祉介護事業の事業展開、県内全域での配送事業、夕食宅配事業、移動販売、地域のネットワークの参加、行政と生協ひろしまとの地域連携、災害時の支援、生活支援に関する生協の役割、新しい地域支援事業への対応について、生活協同組合とは、協同組合の原則、生協としての対応とは、組織と活動、事業の目的の再確認、事業戦略としての対応、組合員活動、ディサービスについて、事業連携、制度、行政への社会的発言、最後に、市町村訪問の3つの目的で、①市町村に「新しい地域支援事業」を適切に組み立てさせる、②生協が持つ事業・活動を市町村にアピール、③生協が持つ地域資源の見える化。生協の総合力の発揮、訪問活動の留意点として、①訪問体制やすすめ方は地域の実情踏まえて、②地域諸団体や協同組合・生協間協同の中でのネットワークづくり、③訪問先の選定は、市町村とのつながりや生協の地域資源の豊富な所からと話されました。



親子・ふくしま訪問ツアー

8月19日(火)～21日(木)

東日本大震災以降、復興支援の取り組みのひとつとして福島との交流は継続されていますが、親子での福島訪問の参加を呼びかけた企画は今回が初めて。募集を行ない10組16名の組合員親子が参加。組合員以外にも大分県食品安全・衛生課の職員も同行され事務局をあわせ総勢26名で福島を訪問しました。参加した子どもから「参加してよかった。来年以降も福島の復興を見ていきたい」といった感想が多く寄せられました。



国民的課題学習会

8月22日(金)

コープおおいたでは、国民の意見を二分する諸問題について、賛否を主張するのではなく組合員一人ひとりに消費者・市民として考えていただけるよう今回は、『広島への平和活動と集団的自衛権行使容認に対する広島の思い』と題し、広島県生活協同組合連合会の専務理事 高田公喜氏、『反原発・脱原発に向けた社会づくりと福島県の取り組み』と題し生活協同組合コープふくしま 理事長 今野順夫氏、「コープふくしまの取り組みと被災地の状況」について生活協同組合コープふくしま 組合員理事 前島佳千子氏にそれぞれご講演いただきました。参加者からは日頃抱いている疑問や質問などが多く出され、充実した学習会となりました。



福島復興支援交流報告会

9月12日(金)

今回の報告会は、「親子・ふくしま訪問ツアー」の参加者と、JA新ふくしまの組合長 菅野孝志氏にご講演をいただきました。「地域産業として作られてきた農業（農産物）を作り通すことによって、作ったものがどうなるかという問題も含め実証的に次の世代に、また将来の福島や日本、そして子どもたちに情報として伝えていくことが大事であると菅野氏。食の安心・安全についてのリスクコミュニケーションについて大分県食品衛生課の大西健二氏にお話いただくなど、福島の実状をあらためて確認し学習を深めることができました。



OBS 感謝祭に福島産品ブースが初出店！

9月13日(土)～15日(月)

OBS 大分放送のイベント「OBS 感謝祭」に福島県産品の販売ブースが設けられました。このブースは、コープふくしまと以前から交流を続けているコープおおいたが大分県と協力して実現しました。3日間にわたり、福島県産の桃や梨、ジュースやお酒、なみえ焼そばなどを販売。桃や梨にいたっては、午前中のうちに完売するほど人気でした。



主な活動紹介



グラウンド・ゴルフ大会

9月10日、組合員350名参加による『グラウンド・ゴルフ大会』が開催されました。

本大会も今年で12年目を迎え、その参加者数も年々増加し、日田市民生協が主催する、組合員スポーツ大会の中でも最も盛大で、にぎやかな大会となっております。

組合員モニター試食会

2ヶ月に1回、15名前後の組合員モニターさんによる試食会が店舗毎に開催されています。

商品はコープ商品・味と安全にこだわった農産品、季節の水産品、全国のこだわり商品等々毎回5～7点の店長自慢の商品が試食され意見や評価をいただき、それを仕入や売り場に日々反映させております。



産直商品の取り組み

日田市民生協の産直取り組みのひとつとして、今回は青森県、岩手県のりんご農家と杵築みかん農家を職員が訪問した時の模様をご案内いたします。

地元産直農産物と共に組合員多数の支持を得ています。併せて職員も定期的な産地訪問により、生産者の方との情報交換をとおして、信頼関係を築いております。

共生・平和長崎自転車隊

2014年8月9日（土）、「共生・平和長崎自転車隊」を実施しました。

当日は台風11号の影響で恒例の「日見峠」での応援が中止となりましたが、長崎市内では自転車隊のみなさんを応援することもでき、無事に松山公園に到着しました。走り終えたみなさんの顔はとてすがすがしく、達成感に満ちあふれていました。平和のつどい・黙とう・原爆資料館の見学などもあり、「平和」について考えることができました。



産直びん牛乳学習会

2014年9月19日（金）、グリーンコープ生協おおいた本部大会議室（大分市寒田）に、グリーンコープ生協のノンホモ・パステライズ牛乳の開発に携わった篠原晴美さんをお招きし、産直びん牛乳学習会を開催しました。



篠原さんには、開発当時の苦労話なども交え、産直びん牛乳について講演いただきました。最後に、参加した組合員・職員65人にむけ、「こんな素晴らしい牛乳を、ずっと飲み続けられるように、自信を持って多くの組合員さんに勧めて欲しい。」とエールをいただきました。参加者からは「グリーンコープの牛乳の素晴らしさが再確認できた。」「生産者、牛乳メーカー、組合員が努力を重ね開発したことがよくわかった。」などの感想が届けられました。

気になることがあれば、学校生協

小林 政 廣

昨年の秋、家の外壁の汚れが少し気になってきたので、どうしようかと考えていた頃、学校生協のガイドブックを見ていたら、住宅関連の中に「外壁塗装見積もり無料」という指定店の広告がありました。

さっそく業者さんに電話すると、見積もりに来て、外壁の他にも傷んでいる箇所を丁寧に説明していただきました。指定店の担当者の対応がとても良かったこともあり、外壁塗装工事を行いました。

今後も、また気になるようなことがあれば、ガイドブック・たんぽぽ等を見て、学校生協を利用していきたいと思います。

今度は何を買おうかなあ

手 嶋 祐 子

生協からカタログが届くと、いつもそんなことを思いながらカタログのすみずみまで目を通します。

中でも特に楽しみなのが、書籍です。書籍は、年度初めに直接本屋さんで買うことも多いのですが、新しい学年になり慣れた頃、「こんな本があるといいなあ…」と思ったときに、生協のカタログはとても便利です。

生協の場合、実際の指導で使えるような本がたくさん紹介されています。昨年、書籍検討委員になり担当者会に参加してみて、多くの書籍の中から現場の教員が気づきを出し合ってカタログに反映させていることを知りました。

これからも、そんな私たちのニーズに合う書籍をたくさん紹介していつて下さることを期待しています。

必ず一品を

松 井 美佐江

私と生協の出会いは、注文番号のミスで、ミックスキャロットが届いたことである。

あれから〇十年。昨年、私は商品委員になり、いろいろ学習させてもらった。

その中で、今、心がけていることがある。それは、カタログから必ず一品は注文するということである。

夏休み前に「エフェクトクリーム」を注文し、現在大切に使っている。また、大好きな「猫のダヤンシリーズ」のグッズや、仕事に使う「スタンプ」やカレンダー等、注文してから届くまでの楽しみもある。

今後も、「必ず一品を」を、自分への合い言葉として、生協を利用していきたいと考えている。

学園祭で「健康フェスタ」、「豊後牛丸焼き」を開催

11月2日（日）の学園祭期間中に、学生のみなさんや学園祭に来場された地域の方に自分の体の状態を知ってもらうことで、病気などの予防につなげて欲しいという思いで「健康フェスタ」を実施しました。

今回の内容は、アルコールパッチテスト、身長・体重測定、血圧測定、視力検査を実施しました。約70名の方に参加していただきました。

また同日は「豊後牛の丸焼き」の販売も行いました。約6時間かけて丸焼きにした豊後牛を販売しました。10時からの販売でしたが、大好評で予定していた230人分は12時30分前には完売してしまいました。

留学生とホストファミリーの交流会

10月19日に「留学生とホストファミリーの交流会」を開催しました。

大分大学生協では大分大学と協力して、年に2回大分大学の留学生のホームビジット、ショートホームステイの取り組みを行っています。今回「ホームステイに行ってみたいがちょっと不安」という留学生と「留学生を受け入れてみたい」という興味がある方のために、座談会形式の交流会です。

ホームステイに実際に行った留学生の体験談の発表のあと、約1時間、小グループに分かれて留学生とホストファミリーの方との座談会を実施して色々な意見交換も出来ました。



自転車無料点検実施

多くの大学生が自転車で通学しています。そんな中には自転車の整備不良による事故やけがをする学生さんもみられます。そういった事故を未然に防ごうという事で自転車無料点検を実施しました。10月23、24日の2日間で75台の申込がありました。そのうちブレーキ調整42台、ハンドル締直し10台、タイヤパンク修理1台を実施しました。



住宅事業について

【分譲部門】

「京が丘」団地につきましては、おかげ様を持ちまして建売住宅2戸が成約済みとなりました。

現在、大分市寒田「藤の香通り」は総販売数34区画のうち、29区画が契約済で、5区画（1区画予約）を販売中です。また、「グリーンウッドかたしま台団地」（1区画）の分譲住宅を販売しております。

住宅購入をご検討中の方はお気軽にお問い合わせください。



【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンとお風呂など様々なリフォームについてご相談ご質問ございましたら一度お問合せ下さい。

旅行センターについて

◇「レゾネイトクラブくじゅう」宿泊プラン

【2014年10月1日（水）～2015年3月31日（火）まで】 1泊2食付 9,800円から
 <お得なポイント> ・60分貸切湯無料（要予約） ・1部屋2名様も同料金
 ・休前日利用でも1,000円UPのみ

◇「JALで行くアクセス東京」

往復航空券と宿泊の東京パック旅行です。組合員特典の3,000円旅行券付です。

◇「忘新年会プラン」

【2014年11月1日（土）～2015年2月28日（土）まで】
 別府市内旅館・ホテル、大分市内ホテル、居酒屋関係の手配もしております。
 幹事さんのご要望に沿ったさまざまな施設のご提案をいたします。

◇大分市内・別府市内宿泊プラン

【2014年4月1日（火）～2015年3月31日（火）まで】
 大分市内、別府市内での会議、懇親会後の宿泊として皆様にご利用いただいております。
 大分市内：8施設 別府市内：5施設を設定

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】45分100円

・昼間最大800円（8時～18時） ・夜間最大500円（18時～8時）

【お得なプリペイドカード】

・10,000円券を7,200円で販売 ・5,000円券を4,200円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。

全労済ソレイユでの会議や大分市中心部商店街でのお買い物の際は是非ご利用下さい。

スポーツの秋を堪能しました！

気候がよくなってくる秋は、食欲の秋・芸術の秋・スポーツの秋などと称されますが、当医療生協にとっては「イベントの秋」でもあります。

毎年、秋から冬にかけては、囲碁大会やバスハイク、ミニバレーボール大会、餅つき大会など組合員や地域の方々に参加していただくイベントを多数実施しています。



今年は、10月1日（水）新しい主催行事として「第1回大分協和病院杯グラウンドゴルフ大会」を開催しました。大会は組合員行事としてではなく、地元の方々との交流を目的としたもので、自治会との連携により、132名の参加となりました。

当日は、朝から小雨が降り始めるという悪コンディションでしたが、少雨決行ということで無事開催にこぎつけました。

競技人口もどんどん増加している人気のグラウンドゴルフですが、改めてその素晴らしさを実感しました。激しい運動ではないですが、適度に体を動かしながら結構な距離を歩き、点数計算で頭の体操もし、程よいコミュニケーションもあり、個人プレーなのでストレスも少ない…高齢者のスポーツと思われがちですが、生涯スポーツとして老若男女、誰もが楽しめるスポーツでした。



い…高齢者のスポーツと思われがちですが、生涯スポーツとして老若男女、誰もが楽しめるスポーツでした。

今後も、組合員や地域の皆さま方に、身近な医療生協として利用していただけるように、交流を深めていきたいと思えます。

2015年6月 新館オープン予定



新館は3階建てとなり、3階には、急性期医療、重症管理を担う病棟を配置します。手術前後の管理、検査入院、小児入院も含めた全科に対応する病棟として運営します。

2階には、慢性期医療を担う病棟を配置します。長期医療となる方の退院へ向けた支援、また緩和ケア、終末期の看取りにも対応する病棟となります。

1階は、食養課（厨房）を配置します。移設により、これまで以上に衛生管理が図れる構造

となり、また温冷配膳車の導入により、さらなる適時適温の食事提供が可能になります。

本館は改修を行い、より機能的な運用を図ります。

1階は、現在の外来診療や検査の機能などを維持します。

2階は、現在の回復期リハビリテーション病棟を拡張、40床へ増床するとともに、病棟併設のリハビリ室を設置し、365日リハビリを提供する病棟としての機能を充実します。

過酷な状況を目の当たりにして 広島災害支援に参加

先日、広島の実地ボランティアに3日間参加させてもらいました。連日テレビや新聞で見聞きする情報や写真以上に、過酷な状況を目にして大きな衝撃を受けました。

私が作業に向かった場所は、安佐南区八木地区のテレビでは報道されていない所でしたが、それでも土砂災害が残した爪痕は大きく、とても今すぐにもとの生活を営めるような状況ではありませんでした。

また、被害のあった家の前の道路が土砂で埋もれているような状況で、幅のある大きな重機などが入れる状況ではなかったので、人の力で家屋



に入った土砂を掻き出し土嚢袋に詰め広い道路まで運ぶ、人手を要する作業になりました。

ボランティア最終日は、次の日から学校が始まる子供達の為に、家の周りにあった土砂や土嚢を運び、人が通れる位のスペースを確保し通学路を作ることができました。

複数の人や団体が力を合わせて物事を行う協同という言葉が肌で感じることもできた3日間でした。



2014 年度 第3回理事会報告

1. 日 時 2014年9月10日（水）16時00分～17時30分
 2. 会 場 大分市府内町 大分センチュリーホテル
 3. 出席者 理事総数13名中、11名出席 監事総数2名中、2名出席

議 題

4. 議 事

- ＜報告事項＞ 7/26～27 県連第2回理事会及びトップ研修会
 29 第2回大分中部地区総合防災訓練実行委員会
 30 第1回九地連運営委員会
 大分県労働者総合生活協同組合通常総代会
 大分県消費者問題ネットワーク消費者庁定例調査
 8/ 2 第23回親子で考える平和のつどい（戦争遺跡めぐり）
 7～8 ピースアクションinナガサキ
 25 第2回大分県消費者問題ネットワーク理事会
 26 大分県議会議員への懇談会要請行動
 28 第2回地球温暖化おおい市民会議
 30 大分中部地区総合防災訓練
 9/ 4 第2回県連組織委員会
 5～7 県連役員視察研修（福島・宮城）

＜単協報告＞ 会員生協の月別活動報告・活動予定

- ＜審議事項＞ 第1号議案 「県行政への要望書」について
 第2号議案 2014年度役職員研修会及びトップ交流会の開催について
 第3号議案 第25回県連スポーツ交流会について
 第4号議案 創立60周年記念行事の小委員会の設置について

＜協議事項＞

5. その他

1. 2014年度第2回県連理事会議事録
 2. 2014年度損益計算書（4月～8月）

2014 年度 第4回理事会報告

1. 日 時 2014年11月26日（水）13時00分～14時45分
 2. 会 場 大分市中央町 全労済「ソレイユ」6Fさざんか
 3. 出席者 理事総数13名中、12名出席 監事総数2名中、2名出席

議 題

4. 議 事

- ＜報告事項＞ 9/10 ライフサポートセンター第3回運営委員会
 第3回県連理事会・県議との懇談会・懇親会
 12 県連会員生協監事研修会
 18 大分県消費者団体連絡協議会
 第7回九地連大規模災害連絡会
 25 第1回介護保険制度改正に伴う連絡会
 26 第3回大分中部地区総合防災訓練実行委員会
 29 第3回大分県消費者問題ネットワーク理事会
 30 平成27年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要請書提出
 10/ 8 九地連運営委員会
 16～17 労福協南部ブロック研修会
 20 創立60周年記念行事小委員会
 22 第3回組織委員会
 29～30 九州ブロック行政・生協合同会議
 11/ 6 第25回ミニバレーボール大会
 18 地球温暖化対策おおい市民会議
 19 創立60周年記念行事小委員会
 大分県消費生活審議会
 22 介護保険制度改正学習会
 25 第4回大分県消費者問題ネットワーク理事会

＜単協報告＞ 会員生協の月別活動報告・活動予定

- ＜審議事項＞ 第1号議案 2014年度行政との懇談会の開催について
 第2号議案 県よりの委託事業について
 第3号議案 創立60周年記念行事について

4. その他

1. 2014年度第3回県連理事会議事録
 2. 2014年度損益計算書（4月～10月）